

## 第5 公営企業の業務の状況

### 1 電気事業

#### (1) 平成28年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億5,500万キロワットアワーと見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益17億1,951万3千円、電気事業費用15億439万6千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入17億8,151万7千円、資本的支出46億8,903万6千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設を着実に推進します。併せて、既設水力発電所の設備更新に合わせたリパワリング（水車ランナ、発電機コイルの改造等による出力向上）を計画的に推進する取り組みとして、生見川発電所及び菅野発電所に係る供給力増強調査を実施します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 平成28年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 (A)-(B)
年間総販売電力量	154,703 MWH	163,671 MWH	△8,968 MWH

第12表 平成28年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成28年度 当初予算額(A)	平成27年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
電 気 事 業 収 益	1,719,513	1,692,890	26,623	101.6
営 業 収 益	1,674,607	1,665,166	9,441	100.6
附 帯 事 業 収 益	26,659	12,045	14,614	221.3
財 務 収 益	8,320	4,270	4,050	194.8
事 業 外 収 益	9,924	11,406	△ 1,482	87.0
特 別 利 益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
電 気 事 業 費 用	1,504,396	1,564,984	△ 60,588	96.1
営 業 費 用	1,380,876	1,490,238	△ 109,362	92.7
附 帯 事 業 費 用	20,121	7,578	12,543	265.5
財 務 費 用	27,812	34,644	△ 6,832	80.3
事 業 外 費 用	72,584	29,521	43,063	245.9
特 別 損 失	3	3	0	100.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,781,517	31,317	1,750,200	5,688.7
資 本 剰 余 金	85,201	17,283	67,918	493.0
固 定 資 産 収 入	1,600,001	1	1,600,000	160,000,100.0
雑 収 入	96,315	14,033	82,282	686.3
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	4,689,036	2,396,218	2,292,818	195.7
建 設 費	211,000	357,000	△ 146,000	59.1
改 良 費	304,087	254,869	49,218	119.3
投 資	1	1	0	100.0
償 還 金	170,848	181,248	△ 10,400	94.3
長 期 貸 付 金	4,000,000	1,600,000	2,400,000	250.0
補 助 金 返 還 金	100	100	0	100.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額29億751万9千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金、減債積立金及び消費税資本的収支調整額）で補てんします。

## (2) 平成27年度下半期の業務の概要

平成27年度は、年間を通じた降雨量は、県下主要ダム（電気事業関連）地点で平年の113%となり、平成27年度の販売電力量は目標に対して107.8%、電力料金収入は目標に対して101.6%となりました。

また、最終の2月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の増などにより1,282万1千円の増額補正を、収益的支出予算においては、物件費の減などにより2,332万9千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において17億571万1千円、収益的支出において15億4,165万5千円、資本的収入において2,750万2千円、資本的支出において23億2,422万5千円となりました。

また、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設工事に着手するとともに、既存施設の未利用落差を利用した小水力発電開発のモデルとして、宇部丸山発電所の建設に取り組みました。

**第13表** 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成27年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	3,298,000	181,247	2,379,017	918,983
錦川水系発電所	1,559,000	87,047	1,070,668	488,332
佐波川発電所	286,000	15,905	186,461	99,539
木屋川発電所	429,000	22,757	375,330	53,670
新阿武川発電所	232,000	12,360	150,487	81,513
末武川発電所	624,000	33,427	460,291	163,709
小瀬川発電所	168,000	9,751	135,780	32,220
一 時 借 入 金	—	—	—	0

## 2 工業用水道事業

### (1) 平成28年度予算及び経営状況

年間総給水量5億8,000万 $\text{m}^3$ と見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益68億916万円、工業用水道事業費用59億1,057万9千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入20億9,446万2千円、資本的支出68億7,061万2千円を計上し、企業債16億3,707万8千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、島田川工業用水道建設事業などを実施します。

さらに、全国初となる工業用水の導入に伴う水処理設備の設置費用を対象とした助成制度を創設するなど需要拡大を図るとともに諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 平成28年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 給 水 量	579,769,650 $\text{m}^3$	579,674,750 $\text{m}^3$	94,900 $\text{m}^3$

第15表 平成28年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成28年度 当初予算額(A)	平成27年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
工業用水道事業収益	6,809,160	6,908,024	△ 98,864	98.6
営業収益	6,264,197	6,362,427	△ 98,230	98.5
営業外収益	544,960	540,438	4,522	100.8
事業外収益	0	0	0	—
特別利益	3	5,159	△ 5,156	0.1
収 益 的 支 出				
工業用水道事業費用	5,910,579	6,118,669	△ 208,090	96.6
営業費用	5,497,659	5,563,337	△ 65,678	98.8
営業外費用	402,917	545,230	△ 142,313	73.9
事業外費用	0	0	0	—
特別損失	3	102	△ 99	2.9
予備費	10,000	10,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資本的収入	2,094,462	1,797,291	297,171	116.5
企業債	1,500,000	1,600,000	△ 100,000	93.8
資本剰余金	159,846	114,781	45,065	139.3
固定資産収入	1	1	0	100.0
雑収入	434,615	82,509	352,106	526.7
資 本 的 支 出				
資本的支出	6,870,612	4,827,374	2,043,238	142.3
建設費	628,069	426,300	201,769	147.3
改良費	3,593,464	2,664,282	929,182	134.9
投資	1	1	0	100.0
償還金	1,637,078	1,726,791	△ 89,713	94.8
長期貸付金	1,000,000	0	1,000,000	—
補助金返還金	2,000	0	2,000	—
予備費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額47億7,615万円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額)で補てんします。

## (2) 平成27年度下半期の業務の概要

平成27年度は、降雨量が県下主要ダム（工業用水道事業関連）地点で平年の112%となったが、月ごとの降雨量の変動が大きく、年間を通じての実給水量は、契約水量に対し、68.8%（昨年度69.2%）となりました。

また、工業用水の安定した供給に資するため、建設事業として島田川工業用水道建設事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の増加などにより1億1,790万4千円の増額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより8,514万9千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、企業債の減少などにより5億9,563万6千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少などにより7億1,036万8千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において70億2,592万8千円、収益的支出において60億3,352万円、資本的収入において12億165万5千円、資本的支出において41億1,700万6千円となりました。

**第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)**

区 分	発 行 総 額	債 還 額		平成27年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	35,167,900	1,729,916	17,315,977	17,851,923
小瀬川工業用水道	2,327,000	141,304	1,473,914	853,086
向道・川上工業用水道	1,067,000	53,127	585,210	481,790
周南工業用水道	9,532,000	409,373	3,116,227	6,415,773
佐波川工業用水道	598,000	36,051	248,818	349,182
厚東川工業用水道	6,615,000	327,950	3,253,376	3,361,624
木屋川工業用水道	3,207,000	166,618	1,683,300	1,523,700
生見川工業用水道	196,000	14,225	190,395	5,605
富田夜市川工業用水道	1,370,000	53,257	289,308	1,080,692
厚東川第2期工業用水道	1,821,000	65,370	649,032	1,171,968
厚狭川工業用水道	2,664,000	127,445	1,376,056	1,287,944
木屋川第2期工業用水道	927,000	74,609	870,580	56,420
末武川工業用水道	467,000	57,451	420,178	46,822
佐波川第2期工業用水道	294,000	24,017	252,119	41,881
小瀬川第2期工業用水道	4,082,900	179,119	2,907,464	1,175,436
一 時 借 入 金	—	—	—	0